

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ			必修(精) 選択(社.心)	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メールID		オフィスアワー	
水野 拓二		講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要		<p>〈目的〉精神障害者の地域生活の実態と、それら取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について同時双方向型授業ならび動画を通して理解を深める。</p> <p>〈概要〉授業はテキストを中心に、同時双方向型授業でパワーポイントを使用して進めていく。また、テキストに書かれている内容が実践現場においてどのように行われているか事例をもとに説明する。授業は前回の振り返り、講義、リアクションペーパーの作成の三部構成となっている。</p>				
学習上の助言		精神障害者の生活実態と社会情勢、医療、福祉について、講義するとともに、事例検討の場を設ける。少人数のグループに分かれてディスカッションを行うことにより、考察を深められるよう授業を進める。				
教科書		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 第2版(新・精神保健福祉士養成講座第4巻) 編：日本精神保健福祉士養成校協会 出版社：中央法規出版				
参考書						
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワーカーとして地域移行の対象者及び支援体制について、相談援助を踏まえて説明することができる				社(1)・精(1, 2)・心(1)	
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	オリエンテーション：講義の概要・目的・評価方法について理解する。	同時双方向型授業	シラバスを確認する。			2
2	精神保健福祉士①；精神保健福祉士の歴史を踏まえ、何を大切にする専門職かを学びます。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
3	精神保健福祉士②；精神保健福祉士法によってどのように規定されているか理解し、PSW実践について学びます。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
4	精神保健福祉士③：役割、理念、専門性、倫理、実践課題について、倫理綱領を基に学びます。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
5	相談援助の過程①：受理面接(インテーク)から契約終了までの流れをおさえます。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
6	相談援助の過程②：アセスメントのために必要な情報と、課題分析、情報収集の方法を学びます。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
7	相談援助の過程③：アセスメントに基づき計画をするために必要な知識・情報について理解します。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
8	相談援助の過程④：支援の実施と経過の観察について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
9	相談援助の過程⑤：モニタリング、効果測定と支援評価のあり方について学びます。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
10	終結とアフターケアについて理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
11	相談援助活動のための面接技法① 相談援助活動のための面接技法について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
12	相談援助活動のための面接技法② 相談援助活動のための面接技法について理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2
13	スーパービジョンについて理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。			2

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	コンサルテーションについて理解する	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。	2				
15	総まとめ	同時双方向型授業	教科書を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。	4				
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		50	50	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	50	10	0	0	0	60	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	精神障害者の地域生活の実態と、それら取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について教科書の範囲内から出題する。授業中に説明した言葉の意味を正確に把握しているか確認する。				試験の解説	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①		授業期間中にレポートを課す。 自分なりの考え方やディスカッションの感想などを記載してもらう。				添削およびコメントを付したレポートの返却	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>・ Teams を使って遠隔授業も行います。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分注意してください。</p> <p>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がありえますので、ご承知のほどお願いします。</p> <p>担当教員：◎水野拓二</p> <p>教員の実務経験：精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 26 年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：従来の授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p>								